



各 位

2024年5月22日

会 社 名 イオン北海道株式会社
代 表 者 代表取締役社長 青柳 英樹
(コード番号 7512 東証スタンダード・札証)
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長
羽 牟 秀 幸
電 話 番 号 0 1 1 - 8 6 5 - 4 1 2 0

「当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要」について

当社は、取締役会の機能の向上と強化を図りつつ、企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

記

1. 分析・評価のプロセス

取締役・監査役の全員を対象に、例年実施している取締役会の構成、取締役会の運営、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主との対話、執行業務に関する自己評価等についてのアンケート評価に加え、第三者評価機関を活用したインタビューを行いました。

評価結果につきましては外部機関により、評価プロセスの有効性及び適正性を検証した上で、2024年4月開催の取締役会において報告し、課題等について討議いたしました。

この討議に基づき、取締役会の実効性をさらに改善する点について、2024年5月22日開催の取締役会にて分析・議論・評価を行いました。

2. 評価結果の概要等

当社の取締役会の実効性については、アンケートの大部分の項目において概ね高い評価を得られており、インタビューにおいてもその点が確認され、重大な指摘事項はありませんでした。

【取締役会の構成】については、女性の社内取締役の選任を求める意見が挙げられた一方で、現在の取締役会構成についてはバランスがよく、大きな問題点は見られないことを評価する意見が多く挙げられました。

【取締役会の運営】については、事前の資料提供や議事運営面などおおむね適切である一方、取締役会資料の分量やプレゼンテーションについては課題意見が挙げられています。

【株主との対話】については、個人株主との懇親会を一昨年より再開したことに加え、個人投資家や機関投資家との対話も実施し、その対話内容については取締役会へのフィードバックがなされていることを踏まえ、大幅に改善されていることを評価する意見が挙げられました。

2024年度は、取締役会におけるプレゼンテーションや資料の記載内容のさらなる改善・運営ルールの徹底、また中長期的な課題に関する議論を充実させるなど、取締役会の運営をさらに高める取組みを進

めてまいります。また、独立役員会議について、より議論をレベルアップしていくため、年間アジェンダ策定をはじめとする運営面の改善につき、検討してまいります。

3. 今後の対応

当社取締役会は、この評価結果を踏まえ、取締役会の「透明・公正かつ迅速・果断な意思決定」による「持続的な成長と中長期的な企業価値向上」を図ってまいります。

以上